



## 変異株の監視体制を強化中 感染対策の継続が大事

令和3年3月17日

富山県感染症情報センター  
(0766-56-5431 直通)  
(0766-56-8142 細菌部)  
(0766-56-8143 ウイルス部)

### 感染症発生動向速報

(令和3年第10週分・3月8日～3月14日)

#### 《インフォメーション》

#### ●現時点での新型コロナウイルス変異株について

2020年の12月上旬頃から海外で新型コロナウイルス変異株(英国:VOC-202012/01、南アフリカ:501Y.V2、ブラジル:501Y.V3)が検出されました。その後、2021年3月までに各国でこれらの変異株による感染例が増加しています。これらの変異株ではいずれも感染性・伝播性に影響するN501Yの変異を認めています。また501Y.V2と501Y.V3はワクチン効果に影響を与えるE484K変異も有しています。これらの海外由来の変異株は、2020年12月下旬以降にわが国の空港検疫や国内の海外渡航歴のない感染者から検出されました。

3月8日に、国立感染症研究所は、2021年2月26日時点で検疫で49例、国内では158例の海外由来変異株による感染例を報告しました。その報告によれば、国内症例のうち152例(96%)はVOC-202012/01でありました。また、国内で検出した症例の大半(94%)は海外渡航歴のない症例であったことから、既に国内で変異株による感染が拡大していることが推察されます。さらには、3月12日にフィリピンから入国した者からN501Y、E484Kの変異を有する株も検出されました。このような国内外の状況から、今後、これらの変異株が国内の主要な流行株となり、第4波が発生することが懸念されています。このため、政府は国内の変異株の監視体制を強化しているところです。

現在、衛生研究所では新型コロナウイルス陽性例について、N501Y変異を検出するPCR検査を実施しています。また、県内の医療機関で検出された海外からの帰国者・入国者の陽性検体についてもこのPCR検査を実施します。このスクリーニング検査で陽性であれば、国立感染症研究所でウイルスの全ゲノム解析を行います。現時点で、富山県内では海外由来と考えられる変異株は検出されていません。

新型コロナウイルス感染対策としての手洗い、マスク着用、ソーシャルディスタンス、3密の回避等は、変異株に対しても、これまで同様に継続することが必要です。

#### 《全数報告の感染症》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 3件  
二類感染症 結核 3件(①80歳代、男性 ②80歳代、女性 ③90歳代、女性)  
五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1件(第9週診断分:80歳代、女性)

#### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位7疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	2.38(↑)	2.34
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.00(→)	2.00
3位	RSウイルス感染症	0.34(→)	0.34
4位	咽頭結膜熱	0.24(↓)	0.34
	突発性発しん	0.24(↓)	0.38
6位	水痘	0.03(↓)	0.14
	伝染性紅斑	0.03(↑)	0.00

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第10週 令和3年3月8日～令和3年3月14日）

分類	疾患	今週報告分（第10週）					累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症				3		3	19	49	59	19	186	332
二類感染症	結核				2	1	3	3	2	4	3	5	17
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1			1
四類感染症	E型肝炎											1	1
	レジオネラ症									2		1	3
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1		1
	急性脳炎									1			1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1			1
	侵襲性肺炎球菌感染症							1		1		4	6
	水痘（入院例）											1	1
	梅毒								1	1		2	4
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ									5			5
	RSウイルス感染症			1		9	10			2		31	33
				0.13		0.90	0.34						
	咽頭結膜熱	1		5		1	7	15	10	55	1	25	106
		0.25		0.63		0.10	0.24						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	1	24	16	13	58	16	15	215	42	74	362
		1.00	0.33	3.00	4.00	1.30	2.00						
	感染性胃腸炎	12	7	16	11	23	69	168	91	148	22	161	590
		3.00	2.33	2.00	2.75	2.30	2.38						
	水痘					1	1	1	3	6	2	10	22
						0.10	0.03						
	手足口病									4	1	1	6
	伝染性紅斑			1			1			4		4	8
				0.13			0.03						
	突発性発しん		1	3		3	7	11	7	35	12	32	97
			0.33	0.38		0.30	0.24						
ヘルパンギーナ							9					9	
流行性耳下腺炎							2		3		2	7	
流行性角結膜炎								1				1	
細菌性髄膜炎											1	1	
無菌性髄膜炎											1	1	
マイコプラズマ肺炎								1	4			5	
インフルエンザによる入院患者（*）					1	1					6	6	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週(8月31日)～の集計です。

## インフルエンザ定点における患者診断状況

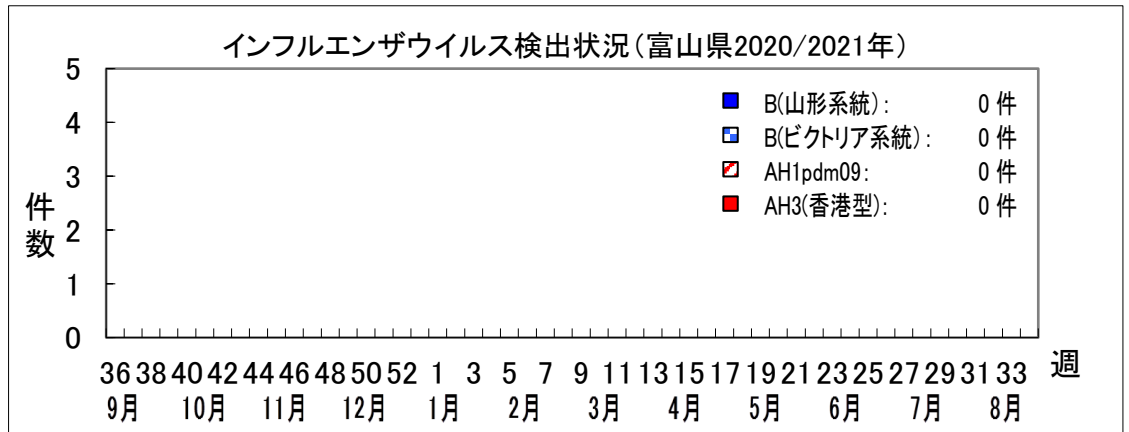
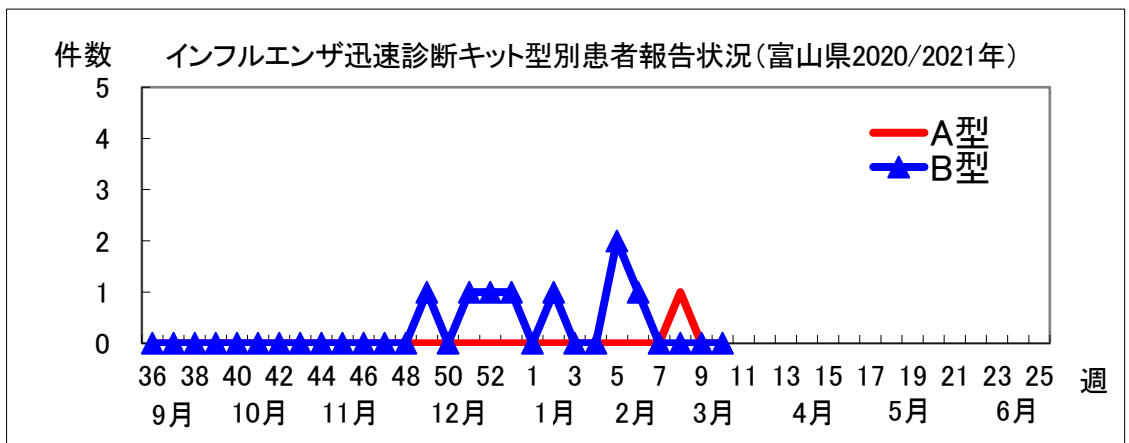
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

### 第10週(3/8~3/14)：富山県 0.00人/定点

(単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	0 / 7	0	0	0	0
中部	0 / 5	0	0	0	0
高岡	0 / 13	0	0	0	0
砺波	0 / 7	0	0	0	0
富山市	0 / 16	0	0	0	0
富山県	0 / 48 <sup>※1</sup>	0	0	0	0
富山県累計(2020年36週~)		1	8	1	10

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が0か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



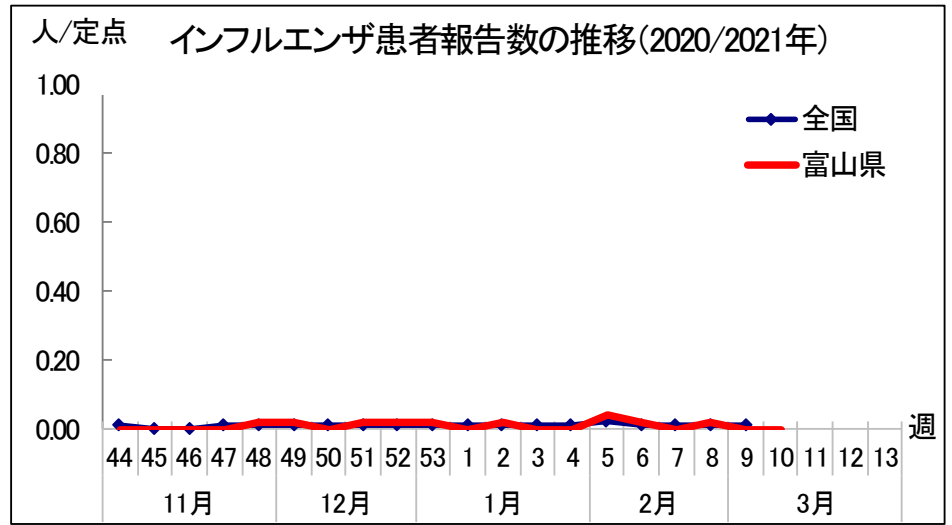


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第10週 (3/8~3/14) : 富山県 0.00 人/定点

新川 HC (0.00)、中部 HC (0.00)、高岡 HC (0.00)、砺波 HC (0.00)、富山市 HC (0.00)

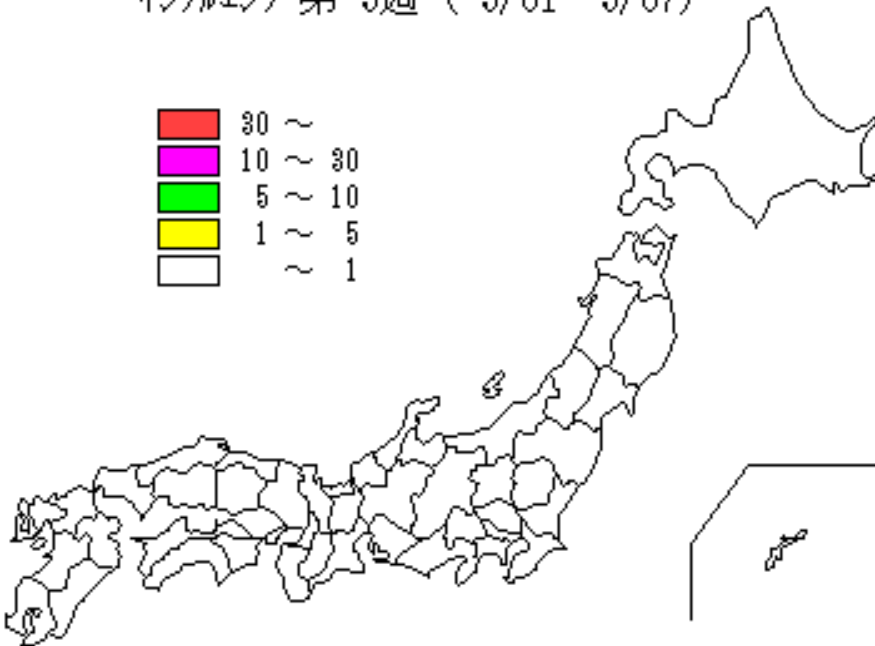
全国・富山県共にインフルエンザ患者報告数は少ない状態が続いています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第9週 (3/1~3/7)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 0.01 人です。

インフルエンザ第9週 (3/01- 3/07)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.01	滋賀県	0.00
青森県	0.00	京都府	0.02
岩手県	0.00	大阪府	0.01
宮城県	0.02	兵庫県	0.03
秋田県	0.00	奈良県	0.00
山形県	0.00	和歌山県	0.00
福島県	0.00	鳥取県	0.00
茨城県	0.02	島根県	0.03
栃木県	0.00	岡山県	0.00
群馬県	0.00	広島県	0.01
埼玉県	0.00	山口県	0.00
千葉県	0.00	徳島県	0.00
東京都	0.00	香川県	0.00
神奈川県	0.00	愛媛県	0.00
新潟県	0.00	高知県	0.02
富山県	0.00	福岡県	0.00
石川県	0.00	佐賀県	0.00
福井県	0.00	長崎県	0.00
山梨県	0.00	熊本県	0.00
長野県	0.00	大分県	0.02
岐阜県	0.00	宮崎県	0.00
静岡県	0.01	鹿児島県	0.00
愛知県	0.01	沖縄県	0.02
三重県	0.00	全国	0.01

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年2月分）

		2月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			2		6	8			3		13	16
				0.67		1.50	0.80						
	性器ヘルペスウイルス感染症		2	2		3	7		2	2		5	9
			2.00	0.67		0.75	0.70						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	尖圭コンジローマ					1	1					3	3
						0.25	0.10						
	淋菌感染症					1	1					1	1
						0.25	0.10						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	2		2	1	6	3	3	4	2	7	19
		1.00	2.00		2.00	1.00	1.20						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2		1			3	2		1			3
		2.00		1.00			0.60						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。